

# チャイムのない学校

--五日市南中学校区内--



第47号平成23年6月24日  
広島市立五日市南中学校  
〒731-5135 佐伯区海老園 4-2-21  
TEL082-923-5601 FAX082-923-9828

## 校長室だより

### 欠けていた素直さ

### 自分の思いを言葉にしたい！

～中国新聞6月5日（日曜日号）読書版、5月21日（土）体育祭、  
6月10日（金）2年ゲストティーチャーお礼等～

学校朝会登場メンバーは、多種多彩に！萩原教頭初登場し、『校内の植物の命』について語り、次に岡下主幹、『部活動を通して感じた生徒のよさ』について語り、今回は金村生徒指導主事が登場し『体育祭を通じて感じた生徒のがんばり』について語りました。次回7月は、村上研究部長が登場し語る予定です。

さて、先日の職員室での会話です。  
『おはようございます。校長先生、中国新聞に五日市南中学校2年生女子生徒の本の紹介が載っていましたよ。内容がよかったですね。』『おはようございます。国語の長井・亀田先生が春休みの宿題に出していた生徒が何人も入選していたと言っていましたね。今回今までに紹介されていなかった本でもあったので、新聞に載ったのでしょうか。よかったですね。』と話をし、じっくり新聞を読んでみたところ素晴らしい内容なので、



今回の題に使いました。紹介してあった本は『ハッピーバースデー』青木和雄、吉富多美著（金の星社）『・・・この本のあすかと私に重なる点が多いことを知った。逆にそうでない点にも気づいた。・・・』  
声を取り戻したあすかが「じいちゃんありがとう」と祖父に伝えた言葉は、私の胸を打った。このようなあすかの素直さが私に欠けているからかもしれない。私も焦らず、自分の思いを探して言葉にするようになれば、もっと素直で思いやりを持てるのではないかと思うようになった。』  
この記事に触れながら、PTA 常任委員



「ヒロシマの心を世界に2011」のプログラムとして上演します。  
日時 平成23年（2011年）8月6日（土）9：15～  
場所 広島国際会議場 フェニックスホール

あらすじ  
原爆をテーマにした芝居に取り組もうとする演劇部の練習。演劇部員である彼らは、伝統となっているテーマのために色々と悩んでいる。「大田洋子」という作家の名前が、ある部員の口から漏れてくるが、誰も彼女のことを知らない。彼らは、彼女の描いた世界に触れていくが、・・・

#### ＜倉入高校演劇部からのメッセージ＞

私たち倉入高校演劇部は、毎年、ヒロシマをテーマにした創作劇を上演しています。これまでも、原爆投下直後の広島や戦後の視点から見つめたヒロシマなど様々な視点から、オーソドックスなスタイルやミュージカル仕立てなど様々な手法で、創作劇にチャレンジしてきました。  
今回の『夕田の街と人と～2011』は、現代の高校生たちが「大田洋子」という作家と向き合うお話です。原爆を扱った作品という点、演劇部員や林三吾さんの名前がすぐに思い出されるのですが、大田洋子さんの名前はなかなか出てきません。彼女の生き様に触れて、高校生はどのようなことを感じるのだろうか、そのようなことを考えてこの劇を創りました。

※ 大田 洋子：広島市出身の小説家、演劇者  
『風の道』『夕田の街と人と～一九五三年の夏～』等の原簿を扱った作品がある。

会にて、次のような話をしました。

『このように、多感な中学生は、素晴らしい思いを内面に持ち、それを言葉に表していくことができるものです。保護者の方と一緒に言葉に表していけるように、時間をかけながら生徒を大きく成長させていきたいと願っています。そのことの協力に、五日市南中学校は感謝しています。』

さて、体育祭直後の職員室での会話です。  
金村生徒指導主事が次のように話していました。

『体育祭実行委員を含め、生徒がよく動いていました。よい体育祭に生徒たちが、創り上げていました。体育祭の感想文にも、3年生、2年生、1年生と、素敵な心を打つ感想が多かったです。地域の方の感想は、校長先生どのようでしたか。』

『地域の方は、「3年生よく頑張っていた。さすが、最上級生でした。2年生も一生懸命でした。真剣さのある2年生ですね。1年生は素晴らしかった。よく動き活動を頑張っていましたね。」と言われていました。1年生の先生方は、特に、入学したばかりの1年生にほめられることを、経験させて成長をさせてやりたいと考えていましたね。

平成23年度 体育祭実行委員

3年生	
男子	女子
1組 石田 隼也	吉田 理沙
2組 横山 健太	白岡 史葉
3組 下野 一樹	森 千佳
4組 森田 聖聖	綱本 恵理
5組 長谷川 健太	山縣 葉央
6組 阪垣 和也	渡井 一果

2年生	
男子	女子
1組 上園 健斗	赤星 身依
2組 日浦 直登	上田 晴夏
3組 大段 祐翔	山本 咲穂
4組 三田尾 樹	高杉 崇成直
5組 北尾 陽生	宮田 悠星
6組 真倉 夏樹	今田 朱風愛

1年生	
男子	女子
1組 齋藤 大鶴	稲田 有紗
2組 升見 裕浩	奥野 炎優
3組 吉川 勘也	高崎 颯々
4組 松村 颯大	立野 成実
5組 磯部 昌克	前 梨雪子
6組 石岡内海斗	本多 夏子

平成23年度 ゲストティーチャーから学友会

ゲストティーチャー	
A 作家	高山 ひとみ 久保 勇樹
B 佐伯区スポーツセンター総長	藤山 義浩
B 書籍・執筆士	石田 貴和
C 介護福祉士	高杉 有希子
(株)マフダ パトロール開発本部	福嶋 勲
D 五日市南地区給食センター	時光 新祐
D 五日市南中学校	藤安 京子
E ひろみ幼稚園園長	清川 里佳
E パレエ教室 主宰	比嶋 優子

F 柏老園南園見聞局	堂見 敬
F 広島入国管理局	阿嶋 珠
G 高尾事務所司法書	高尾 昌二
G 中国新聞社果敢記者	加納 亞弥
H 気象予報士	山本 剛弘
H 建築設計事務所 ラーベン	下田 成夫
I 理学療法士	川村 美紀子
I 比治山大学 学生	高橋 石
J 看護師	田中 まゆみ
J 社会福祉士	三上 那那子

ほめるポイントを体育祭にしぼり、たくさんしかり、それ以上にほめられるように、よく生徒に関わっていました。生徒のよさを引き出すために、よく動いていましたね。

この生徒のよさを保護者の方とともに、高くのびしていけることを、今後楽しみにしています。また、3年生、2年生、1年生が、体育祭の行事を通して出した頑張りや緊張感は素晴らしかったですね。ぜひ、その良さを学校朝会で話してやってください。』

今回の第35回体育祭は、地域のおかげで梅雨時期でない5月21日(土)に行うことができました。年々多くの方が応援にきてくださり、午前も午後も満員でした。その中で、時期が早くなったことを地域に、うまくお知らせできていなかったために、応援ができなかった方もありました。また、テント席が足りなかったり、机やいすや接待の足りなさなど不備があったことお詫び申し上げます。そして、これからも、このように多くの方に五日市南中学校生徒の体育祭のファンになっていただけたらと考えています。今後とも五日市南中学校のご支援をよろしくお願いいたします。

また、2年生ゲストティーチャー今年も新たに多くの方に来ていただきありがとうございます。1年生のゲストティーチャーは、7月に来ていただきますが、今後とも生徒のために支えてやってください。